

# LIBRARY

No.4 平成26年12月3日  
津田沼高等学校図書委員会

お待たせしました、図書委員会の広報です。  
今回も、図書委員おすすめの本を紹介したいと思います。

## ☆小説☆

『魔王』 伊坂 幸太郎 作

～周りに流されるな。考えろ～

「私達に政治を任せてくれれば、五年で景気を回復してみせる」

「できなければクビを刎ねればいい」

今までの政治家とは違う、強いリーダーシップとカリスマ性を持つ『犬養』という政治家が現れる。

彼の行動によって日本がファシズムに走ってしまうのではと危惧する兄。その兄の姿を見て「自分は今、何をすればいいのか」考え、選択する…

閉鎖的な日本で、周りに流されず、孤独に戦う兄弟の物語。

政治問題が山積みの現代社会だからこそ、周りに流されず自分の意思を持って行動することの大切さに気づかされる一冊です。

『インバウンド』 阿川 大樹 作

～沖縄のコールセンターのお仕事～

「上原さんでしたら、コールセンターがお勧めですねえ」

それがすべての始まりだった。

東京でリストラに逢い、故郷の沖縄に帰ってきた上原理美は、コールセンターのオペレーターとして働くことになる。

オペレーターとしての「佐藤広美」という仮の名前、クレマーの数々、社内の競争、初めての環境での悪戦苦闘の日々のなか、理美は成長してゆきます。

そして舞台はコンクールへ…果たして優勝を掴むことは出来るのか？

柔らかく読みやすいシンプルな内容で、コールセンターの裏側がよくわかる一冊です。



## ☆ノンフィクション☆



### 『ガレー船徒刑囚の回想』 ジャン・マルテュー 著 木崎 喜代治 訳

～ひとりの青年の、12年間の受難～

カトリックのルイ14世の統治下のフランスで行われた、プロテスタントへの激しい迫害から逃れるために、新教徒のマルテューはオランダへと旅立つも失敗し捕えられ、ガレー船に送られてしまい…回想記としては珍しく、読み手のことをよく意識して語られるため、飽きのこない内容となっています。

航海や戦闘など、全てが著者の経験した事実であるため、迫力ある内容に興奮させられる事でしょう。

## ☆ミステリー☆



### 『クビキリサイクル 青色サヴァンと戯言遣い』 西尾 維新 作

～天才たちの間で起こる猟奇事件～

親友の付添人として日本海に浮かぶ『天才ばかりが集められる島』という島、鴉の濡れ羽島を訪れた「ぼく」。物語はその三日目から始まります。

世間から隔離されたその島の天才たちと行動を共にする中、殺人事件が発生し…

韻を踏んだ文章と張り巡らされる伏線がこの本の魅力でテンポよく読み進めて行ける作品です。

## ☆民俗学☆



### 『遠野物語』 柳田 國男 作

～願わくば之を語りて平地人を戦慄せしめよ～

1910年に発行されたこの本は遠野盆地～遠野街道(現：岩手県遠野市)にまつわる民話を集めたものである。天狗や河童などの妖怪や、神隠し、マヨヒガ、死者などに関する怪談や神々についてなど多様である。

姥捨て子殺しなど、生老病死に関する問題について、別の視点から見ることも大いに価値あり！

冬休み長期貸し出し！12月10日（水）からです！

貸出数無制限！どうぞ図書館に来てください！